

ロウフウ学習図鑑

日本画家シリーズ

落合朗風



落合朗風(1896~1937)は、大正から昭和初期にかけて活躍した日本画家。朗風自身は東京生まれですが、父親が現在の島根県出雲市平田町出身であったこともあり、島根ゆかりの画家として捉えられました。昭和9(1934)年には自らの主宰する美術団体・明朗美術連盟を川口春波とともに創設し、「日本画」の既成概念に一石を投じる先駆的作品を次々に発表していきましました。

表紙の解説

落合朗風《落外の秋》昭和7(1932)年、個人蔵

1932年4月に開催された第2回個人展覧会へ落合朗風が出品した作品。京都で生活していた時期に実際に目にした光景と考えられます。カラフルな色彩で紅葉を表現しています。

企画編集：五味俊晶(島根県立美術館)、五味朋子(平田本陣記念館)

執筆：五味俊晶

デザイン：森脇祥吾、石原萌(松陽デザインラボ)

印刷：有限会社松陽印刷所 発行：島根県立美術館

●つかい はじめ がつ ちに

●つかい おわり がつ ちに

本製品の表紙(キャラクターの顔の第三者が著作権を有する部分を除く)は、シロクワノート株式会社の学習帳の立体商標に基づいており、本製品は、同社の許諾を受けております。

〒690-0049 島根県松江市抽籠町1-5
TEL.0852-55-4700 FAX.0852-55-4714
<https://www.shimane-art-museum.jp>



ねん くみ なまえ

17マス

びじゅつ

島根県立美術館 落合朗風展

ロウフウ学習帳

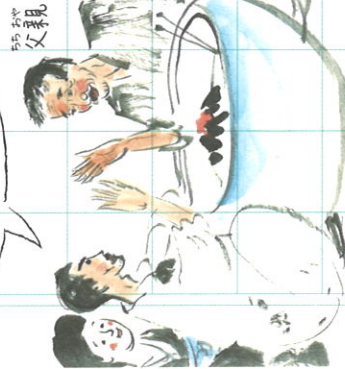


びじゅつ 17マス

落合朗風《筍[雨後新篁図]》

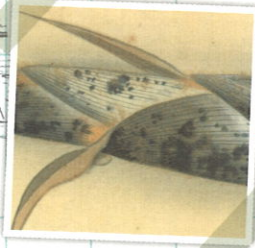
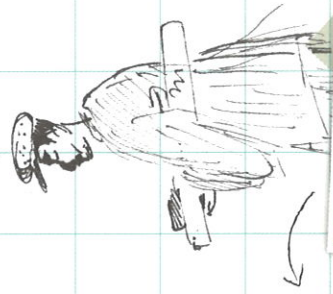
昭和2(1927)年、平田本陣記念館蔵

とくになつた父親の家に
生えていたタケノコを
スケッチしました

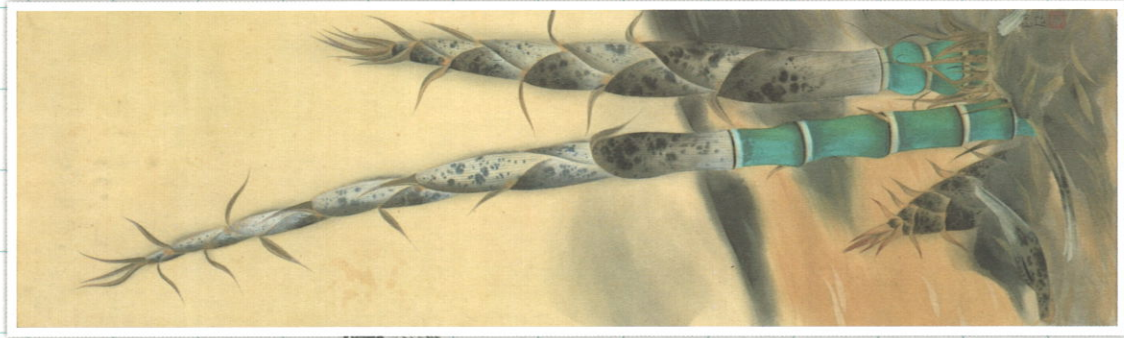


父親

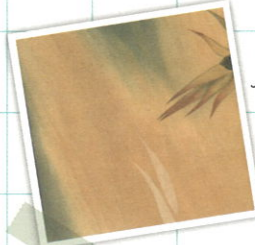
タケノコの産毛まで
細かく描いています



地面に落ちたタケノコの
皮は、輪郭線を用いず
薄っすらと



金色で描いているのは、
光が大地にあたっている
表現です



落合朗風《華嚴仙》

昭和6(1931)年、山形・鶴布山珍藏寺蔵

とても大きな作品なので、
昭和14年には列單を管し切って
昭和14年、山形から東京まで輸送しました

孝信(左)



自分がそれまで出さなかった
展覧会では、大きすぎて
展示できませんでした



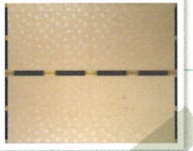
仙像の細かな状態も
克明に描写しています



この境目で屏風が開閉します
開く前はこんな状態になっています



裏はここにも仙像の
後ろ姿を描く予定でした



奈良県の新薬師寺において、
泉戀の仙像をスケッチした成果です

開館25周年オリジナル企画展

2024 9/20(土) - 11/4(月・祝)



Ochiai Rofu

明朗美術連盟と
目指した世界

The world he aimed to create with the Meiro Art Federation

島根県立美術館

開館時間：【9月】10：00～日没後30分（展示室への入場は日没時刻まで）
【10月～11月】10：00～18：30（展示室への入場は18：00まで）

休館日：火曜日

購入者

セットA割(1)一般

価格(税込み) 1160円



469 976 8624

注意事項 ※必ずお読みください。

- ・2階コレクション展(展示室5)第2会場もご覧いただけます。
 - ・本券は1枚につき(二次元バーコード1つにつき)1名様、会期中の入場1回限り有効です。
 - ・購入完了後のキャンセルはできません。
 - ・当日中の再入場の際は受付にお申し出ください。
 - ・入場、観覧時間に制限はございません。
 - ・営利目的でのチケットの転売は禁じられています。
 - ・メディア取材・撮影が行われる場合がございます。
- 写り込みに同意いただけない方はスタッフにお声がけください。

島根県松江市袖師町1-5 TEL: 0852-55-4700

当チケットを再プリントした場合は、会場入口で最初にご提示いただいた1枚のみが有効となります。
If you have a reprinted ticket, only the first ticket presented at the entrance will be valid

supported by K.K. etixdatafarm
<https://etix.co.jp/>